

対馬市

平成17年7月発行



社会福祉法人
対馬市社会福祉協議会

〒817-1201 長崎県対馬市豊玉町仁位94-5
TEL 0920-58-1432 FAX 0920-58-1183
E-mail tsushima-syakyo@oregano.ocn.ne.jp

社協だより

平成17年度美津島地区ふれあい広場



美津島地区

ふれあい広場

去る、5月31日(火)、対馬グランドホテルにおいて、対馬市社会福祉協議会美津島支所主催の「美津島地区ふれあい広場」を開催し、町内の一人暮らしや老人や食事サービスボランティアの皆さん125名が参加されました。

当日は、日頃一人暮らしで居る方々も、久しぶりの再会に話も弾み和やかな雰囲気の中、参加者の十八番の披露で終日を楽しましました。フィナーレは参加者全員で炭坑節の替え歌を合唱し、恒例となったビンゴゲームで盛り上がり、閉会いたしました。今後においても、地域の皆さんとふれあえる企画づくりを考えていきたいと思っております。

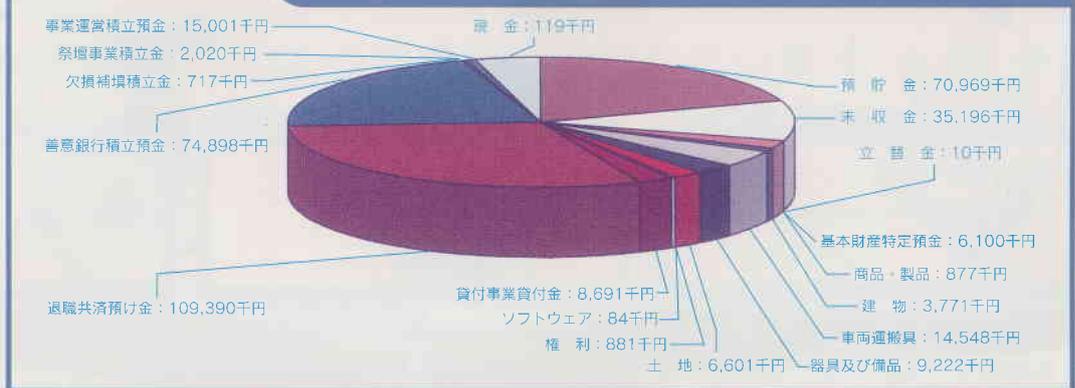
決算報告

資産・負債・純財産の状況

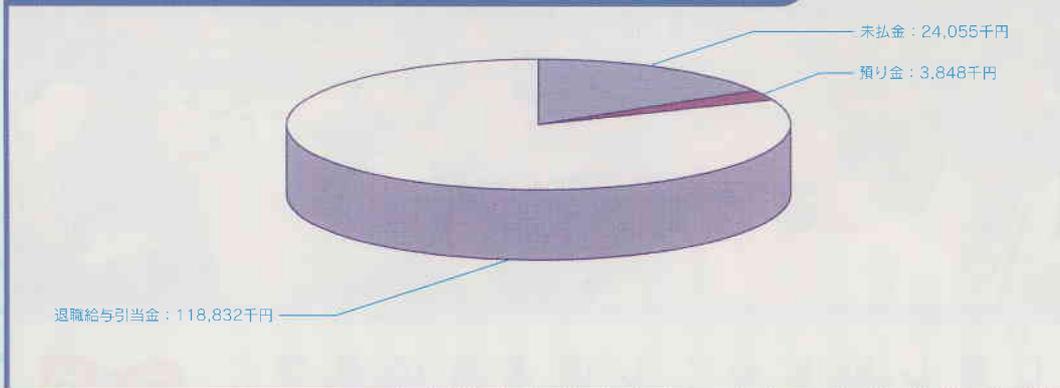
対馬市社会福祉協議会の平成17年3月31日現在の資産等の状況は、

- 資産総額 359,095千円(前年度:336,690千円)
- 負債総額 146,735千円(前年度:124,940千円)
- 純財産内訳 212,263千円(前年度:211,750千円)で内訳は、次のとおりです。

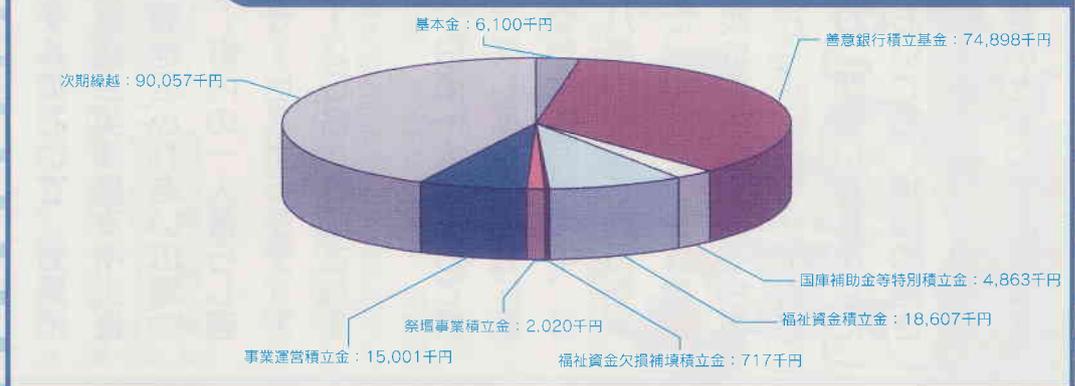
◆資産内訳:総額359,095千円



◆負債内訳:総額146,735千円



◆純財産内訳:総額212,263千円



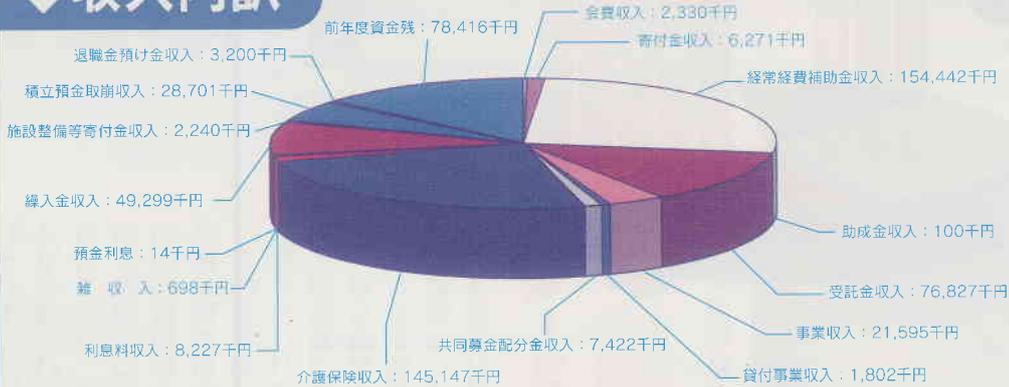


平成16年度

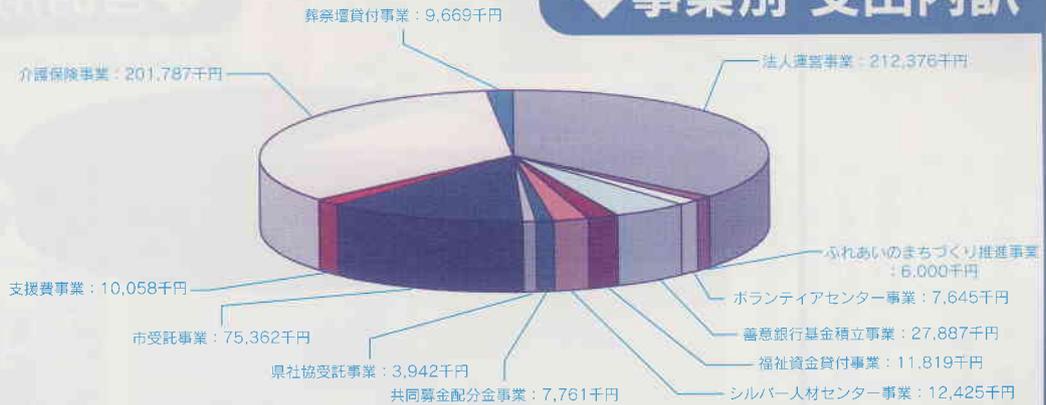
収支

平成16年度の対馬市社会福祉協議会の収入、支出の総額はそれぞれ586,731千円（前年621,475千円（前年対比94.4%））で内訳は次のとおりです。

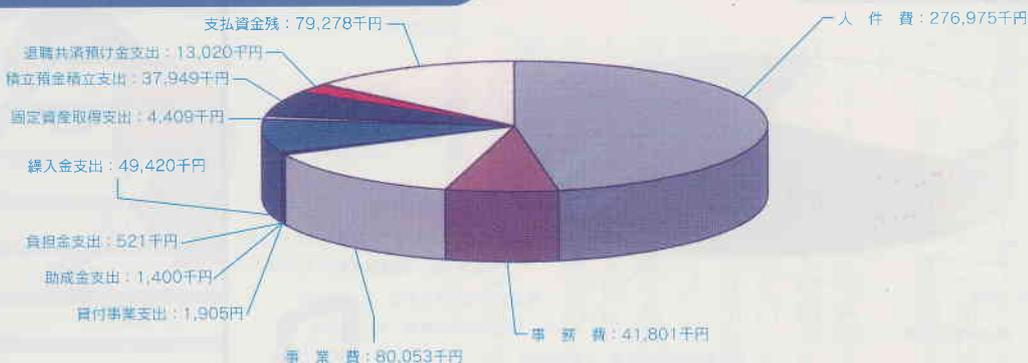
◆収入内訳



◆事業別 支出内訳



◆目的別 支出内訳

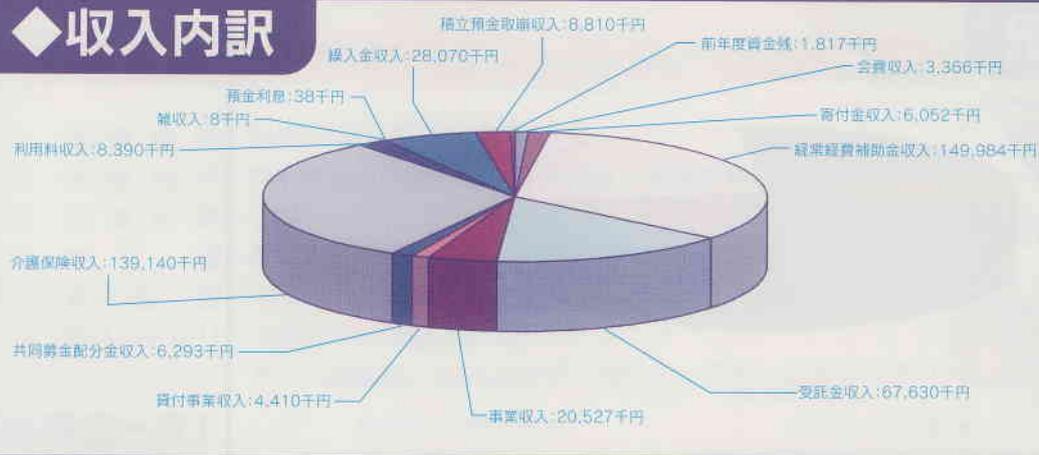


平成17年度

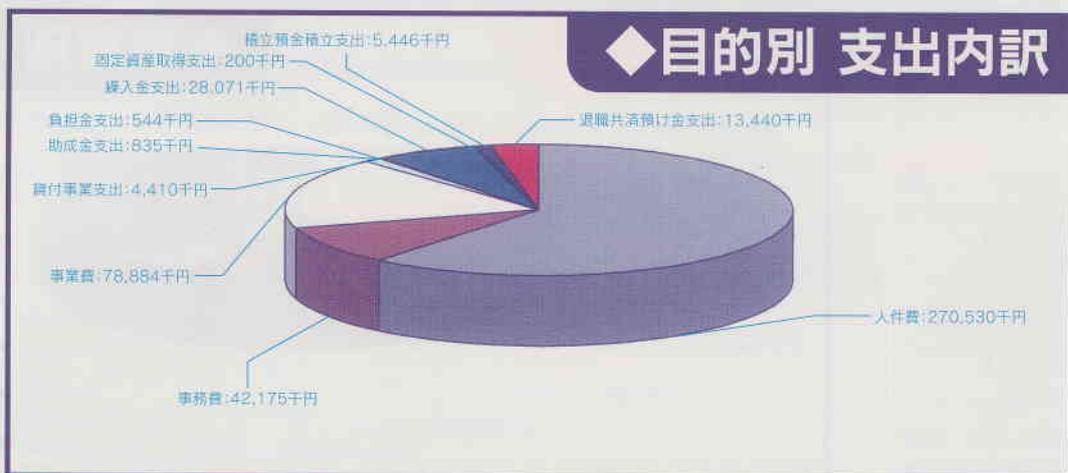
収支予算

平成17年度対馬市社会福祉協議会の収入、支出予算は、それぞれ444,535千円で、収入の主なものは、補助金収入、介護保険収入、受託金収入となっております。また支出では、人件費が大きく占め、続いて事業費、事務費の順となっております。事業別では、法人運営、介護保険、市受託事業がその大半を占めています。なお、皆様から頂きました会費は、ボランティアセンター事業、地域福祉推進活動事業の事業費に充てるとともに、なお財源不足が見込まれますので、介護保険等による積立金の取り崩しを約900万円予定しております。

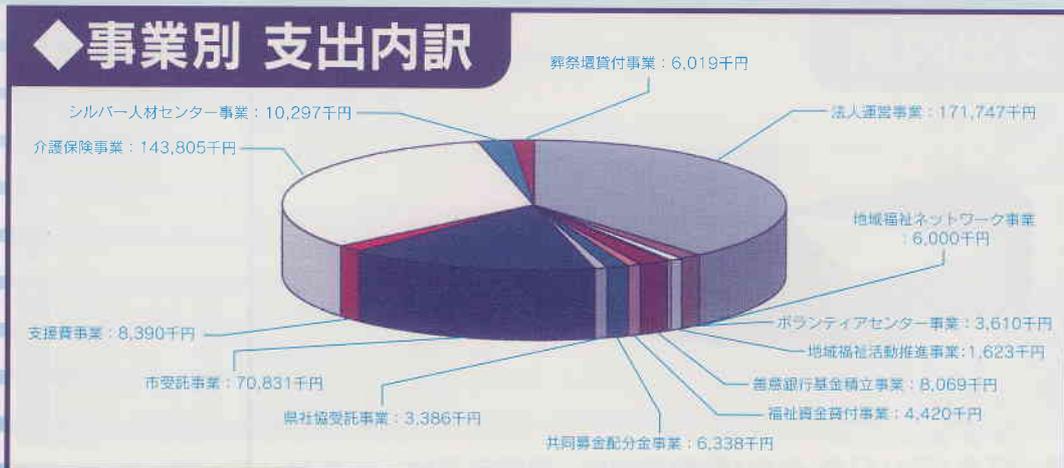
◆収入内訳



◆目的別 支出内訳



◆事業別 支出内訳



第2回

ふれあいのグラウンドゴルフ大会

去る、6月5日(日)上県総合運動公園(野球場)において、対馬市社会福祉協議会上県支所主催による、「第2回ふれあいグラウンドゴルフ大会」が開催されました。



▲開会式の様子

この大会の目的は、子供から高齢者・障害者の有無を問わず、地域住民が住みなれた町で安心して暮らしていける福祉のまちづくりをめざし、福祉行政及び福祉団体等の関係機関とともに融和と連帯感をもちグラウンドゴルフを通して「心のふれあい」を図ることを目的として行われ、当日は天候にも恵まれ22チーム

関係者をを含め総勢約180名の参加がありました。
参加者も勝敗にこだわらず、楽しい一日を過ごされました。成績は次の通りです。

【団体の部】

優勝	伊奈チーム
準優勝	友谷チーム
3位	民生委員チーム

【個人の部】

優勝	庄司茂夫
準優勝	中村満直
3位	島居春男
4位	山田博康
5位	阿比留政登



▲グラウンドゴルフの様子



▲グラウンドゴルフの様子

第2回

対馬市身体障害者福祉協会連合会

ゲートボール大会

去る6月14日、対馬市総合福祉保健センターゲートボール場(美津島町)におきまして、第2回対馬市身体障害者福祉協会連合会ゲートボール大会が行われました。

この大会は、ゲートボールを通じ障害者の体力増強及び市内の会員同士が心と心の交流を深めることを目的とし行われており、大会には7チームが参加され、熱戦が繰り広げられました。

第2回大会の優勝に輝いたのは上県チーム、準優勝は峰チーム、3位は豊玉Bチームでした。
優勝されました、上県チームは9月16日に諫早で行われる、県大会に出場されます。ご活躍をお祈りいたします。



▲表彰式の様子



▲ゲートボール大会の様子

第17回

全国身体障害者ゲートボール大会

「ふくい大会」報告

去る、5月26日福井県で開催されました、第17回全国身体障害者ゲートボール大会「ふくい大会」に、九州代表として豊玉チームが参加しました。

この大会には、全国各地より32チームが参加し優勝の座を賭けて熱戦が繰り広げられました。豊玉チームは予選を突破し、決勝トーナメントでは惜しくも準々決勝で敗れましたが、全国でも上位にいくこむ素晴らしい成績をのこされました。

これからも、今まで以上の活躍を期待いたします。



精神保健福祉ボランティア養成講座受講生募集 及び公開講座のお知らせ

ストレス社会の中で、精神科的な病気に悩む人が増え、多くの方が心の不健康状態に陥っています。このような病気は、決してめずらしい病気ではありません。また、病気について、わからないこと・知らないことが不安をつのらせることもあります。

この講座では、精神保健福祉について基礎的なことを学び、精神障害者の人達が地域で安心して暮らしていけるよう理解を深め、一緒に支援活動をしていくための講座です。

精神保健福祉ボランティアに興味がある方で、講座終了後、実際にボランティア活動などに従事していただける方の参加をお待ちしております。

また、講座の1回目と2回目は、「公開講座」としておりますので、是非お気軽にご参加ください。一人でも多くの方の参加を心からお待ちしております。（公開講座のみの参加も可。）

みなさん自身のためにも、是非ご参加ください

1. 開催期間…平成17年8月～12月
2. 開催場所…豊玉町文化会館 他（3回目は、会場が異なります。）
3. 開催回数…5回
4. 内容…精神保健福祉に関する講話、触れ合い体験、交流学习など
5. 参加費…ボランティア保険等実費が必要（数百円程度です。）
6. 申込み〆切り…平成17年8月23日(火)まで

※「公開講座」のみの参加の場合も必ず申し込みください。



【基礎コース】

回	開催月日	内 容	講 師	会場及び備考
1	8月30日(火) 19:00～21:00	開講式 講話「こころの健康及び精神科疾患の理解」 ・自分自身の心の健康は？ ・病気に対する理解を深め、偏見をなくしましょう。	対馬いづはら病院 精神科医師 林田健太郎	公開講座 豊玉町文化会館 2階大集会室
2	9月22日(木) 19:00～21:00	講話「精神障害者が地域で暮らしていくために」 ～生活障害とその援助について～ 「当事者及び家族からのメッセージ」	地域活動所「きらり」 所長 築城洋二 地域活動所「きらり」 通所者 対馬ひまわり会会員	公開講座 豊玉町文化会館 2階大集会室
3	10月20日(木) 13:30～	「触れ合い体験」 中地区ソーシャルクラブ参加 「運動」 ※基本的には、上記日程の参加。 予備日：10月5日(水)、11月2日(水)		佐賀開発 センター 11月2日は、 倉敷 松原公園
4	11月22日(火) 13:30～15:30	「意見交換 ～触れ合い体験をとおして～」 ・3回目の体験について、感じたことを語り合しましょう。 講話「ボランティア活動の意義と役割について」 講話「精神保健福祉ボランティア活動の実践について」 ・先輩ボランティアさんの実践をさいてみましょう。 精神保健福祉ボランティアグループ「フレンド」 及び「やまびこ」との意見交換・交流	対馬市社会福祉 協議会 講師未定 ボランティア グループ「やまびこ」 会長 田村健二	豊玉町文化会館 2階大集会室
5	12月15日(木) 13:30～15:30	「地域の社会資源について」 ・地域の社会資源について知りましょう。 「基礎コース」のまとめ ～受講して、さまざまな思いを自由に話しましょう。 今後の活動紹介とグループ化に向けて	対馬保健所 地域保健課長 曾我八重美	豊玉町文化会館 1階研修室

申し込み・問い合わせ先……対馬保健所 地域保健課(担当 クワハラ)まで ☎0920-52-0166

御寄付御礼

社会福祉の推進のために、多くの方々から心温まる善意のご寄付をいただきました。ここに、ご芳名(敬称略)を掲載し、謹んで亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。

お寄せいただきました寄付金は、各種福祉事業や地域福祉活動の推進のために活用させていただきます。誠にありがとうございます。



(平成17年3月〜平成17年5月末分)

巖原支所

- ▼辻口 正雄(中村)
(亡・辻口 峯子)
- ▼若松 博敏(西里)
(亡・主藤 マツ)
- ▼平間 佐(尾浦)
(亡・平間 マツ)
- ▼平山 讓二(久田)
(亡・平山 初子)

美津島支所

- ▼阿比留 吾市(豆酸)
(亡・阿比留 ヨツ)
- ▼野上 百合枝(国分)
(亡・野上 秀雄)
- ▼大石 友幸(与良内院)
(亡・大石 菊吉)
- ▼斉藤 富佐江(日吉)
(亡・斉藤 幸則)
- ▼米田 幸實(豆酸)
(亡・米田 豊實)
- ▼永留 和子(国分)
(亡・永留 章)
- ▼内田 安彦(与良内院)
(亡・内田 照子)
- ▼古賀 光子(下原)
(亡・古賀 憲次郎)
- ▼神宮 秀二(難知)
(亡・神宮 光男)
- ▼田口 一郎(緒方)
(亡・田口 トミ)
- ▼犬束 洋義(濃部)
(亡・犬束 信太郎)
- ▼川口 榮(赤島)
(亡・川口 堅雄)
- ▼井上 清一(難知)
(亡・井上 春)
- ▼村瀬 孝樹(難知)
(亡・村瀬 栄一郎)
- ▼竹尾 初美(難知)
(亡・竹尾 忠義)
- ▼高島 隆宏(竹敷)
(亡・高島 力ネ子)

豊玉支所

- ▼犬束 茂正(貝鮒)
(亡・犬束 茂)
- ▼平江 稔(佐志賀)
(亡・平江 フミ)
- ▼国分 尚美(貝口)
(亡・国分 末広)
- ▼平山 春美(大綱)
(亡・平山 政和)
- ▼築城 徹(千尋藻)
(亡・築城 喜代行)
- ▼齋藤 要範(横浦)
(亡・新納 重雄)
- ▼波多 修(横浦)
(亡・波多 肇)
- ▼築城 哲則(千尋藻)
(亡・築城 幹雄)
- ▼中井 義廣(千尋藻)
(亡・中井 一夫)
- ▼村瀬 島雄(小綱)
(亡・村瀬 セン)
- ▼齋藤 己未子(田)
(亡・齋藤 義正)
- ▼多田 イセ子(賀佐)
(亡・多田 善二)
- ▼吉田 成一(佐賀)
(亡・吉田 シゲ)
- ▼荒木 幸美(木坂)
(亡・荒木 直寛)
- ▼阿比留 正臣(三根)
(亡・阿比留 藏生)

上県支所

- ▼兵頭 泰文(佐賀)
(亡・兵頭 成一)
- ▼平山 貞幸(佐護)
(亡・平山 敏行)
- ▼安心院 春行(佐須奈)
(亡・安心院 ルミ子)
- ▼米田 津代利(志多留)
(亡・米田 ウメ)
- ▼野田 政弘(志多留)
(亡・野田 政太)
- ▼末浪 恭二(佐須奈)
(亡・末浪 フミ)
- ▼豊田 亘之(鹿見)
(亡・豊田 カツ)
- ▼宮原 ツヤ子(瀬田)
(亡・宮原 春吉)
- ▼豊田 須美野(佐護)
(亡・豊田 久義)
- ▼島居 延雄(志多留)
(亡・島居 由里子)
- ▼佐々木 康介(佐護)
(亡・佐々木 康晴)
- ▼大庭 政利(小鹿)
(亡・大庭 タカ)
- ▼八島 千穂子(豊)
(亡・八島 さだ)
- ▼武末 賢市(鰯浦)
(亡・武末 孝太郎)
- ▼馬場 信家(泉)
(亡・馬場 信義)

上対馬支所

- ▼古藤 芳正(五根緒)
(亡・古藤 ヒサ工)
- ▼下岸 禮子(比田勝)
(亡・下岸 操)
- ▼比田勝 利章(大増)
(亡・比田勝 豊子)
- ▼村上 公一(泉)
(亡・村上 祐義)
- ▼園田 俊盛(泉)
(亡・園田 淳)
- ▼宮原 美富(鰯浦)
(亡・宮原 美末枝)
- ▼久和 富士子(豊)
(亡・久和 繁実)
- ▼金子 興三(福岡県)
(亡・金子 幾世)
- ▼米田 アサ工(比田勝)
(亡・米田 敏幸)
- ▼太田 豊子(大増)
(亡・太田 勝美)
- ▼古藤 一正(舟志)
(亡・古藤 墨)
- ▼山田 円悦(豊)
(亡・山田 覚三)
- ▼扇 義英(菅見)
(亡・扇 保)
- ▼末松 健一(西泊)
(亡・末松 頼子)
- ▼糸瀬 直和(唐舟志)
(亡・糸瀬 トメ)

一般寄付

- ▼宮原 貞至(鰯浦)

対馬市の地域福祉向上のため

社協会費にご協力お願いいたします。

社会福祉協議会は、地域福祉活動（住民が主体となり、地域の実情に応じた福祉活動）の増進を目的に法律に基づいて組織された公共性と自主性を有する団体（社会福祉法人）で、その財源は、自治体からの補助金及び委託料、共同募金配分金並びに社協会費でまかなわれるようになっております。特に社協会費につきましても、地域に応じた柔軟な事業を行うための重要な財源として考えられています。

対馬市社会福祉協議会といたしましても、地域に応じたきめ細かな福祉活動を推進していくための財源として会費制度の導入を実施しております。

市民の皆様には、趣旨をご理解のうえ、より多くの方々のご協力をお願いいたします。

一般会費：300円以上（一般の世帯構成員）

賛助会費：1,000円以上（上記以外の世帯構成員及び団体）

法人会費：3,000円以上（法人）

なお、会費の徴収につきましては、8月頃各地区の区長さんをお願いしようと計画していますので、よろしくをお願いいたします。

社協会費は、このような事業に使われています。

高齢者のために

- ・ 独居老人や高齢者世帯の生きがいづくりや、孤独感の防止のための事業。

子育て支援に

- ・ 母親の育児不安を解消し、子供たちがのびのびとすこやかに成長できるよう、お手伝いをしています。

ボランティア育成に

- ・ ボランティア育成のための入門講座の開催や、ボランティア活動の斡旋。

福祉教育に

- ・ 小学校、中学校、高校などにおいて、福祉に関する授業のお手伝いをしたり、夏休みに施設体験などを行う、サマワークキャンプの実施。

情報提供に

- ・ 広報誌の発行事業。対馬市社協の各種事業などのタイムリーな情報を提供いたします。

その他

- ・ 重度身体障害者通院対策事業。
- ・ 各種調査・研究
- ・ 各種イベントなど。

自由にエッセイ

「あ〜夏休み」

子どもの頃は、夏休みが待ち遠しかった。40日間の冒険旅行が始まるからだ。

夏休みでも、早起きしてラジオ体操に行き、規則正しく朝食、午前

中の涼しい時間帯に宿題を行い、午後からは海水浴、疲れて夕

食を食べたと思ったら、そのまま眠ってしまった。

が、しかし、現実には：夏休みなので、遅くまでテレビを視て、

親に起こされ顔も洗わずラジオ体操に行き、家に帰らず、そのまま近くの山へセミ採り、お腹が減ったので家に戻り、冷蔵庫

の中から食料調達、海パンに着替え自転車まで海へ、泳ぎ疲れたら家に帰り、夕食を食べた後火火大会、さすがに疲れて眠りにおちる。

夏休みなのに休む事を忘れ、もちろん夏休みの宿題の存在すら忘れて自由奔放に38日間は楽しんだ。

40日間の冒険も毎年38日目でリタイア。現実の壁は高く険しかった。違う意味で充実した夏休みは、この2日間かもしれない。

アサガオの観察日記、工作、海の子作品、夏休みの友、漢字ドリル、自由研究の宿題たちを2日間で退治した時は、スーパー

スーパーになった気分だった。言うまでもないが、内容は散々なものだった。

来年は2日間だけのスーパースターではなく、40日間のスーパー

スターになろうと誓った夏であり、夏休みの宿題に限らず

何事も日々の積み重ねが大事だと痛感した夏でもあった。

